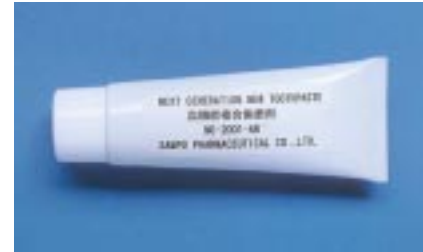


ウ蝕ならびに歯周病の同時予防のための の次世代高機能複合歯磨剤

企 業 / 三宝製薬（株）

研究者 / 丹羽源男（日本歯科大学歯学部衛生学教室教授）



高機能複合歯磨剤

歯の表面のエナメル質は、微量の炭酸イオンを含むハイドロキシアパタイトで97%が構成されています。世界的に使用されている従来の歯磨剤は、フッ素イオンを混在させて歯を構成しているハイドロキシアパタイト中の水素基をフッ素化させて耐酸性のフッ素アパタイトへ転化することで虫歯予防を図ってきました。しかし、フッ素化だけでは歯の磨耗や溶解による歯の退縮を防ぐことはできません。一方、ハイドロキシアパタイト入り歯磨剤は、ハイドロキシアパタイト自身も強力なたんぱく質吸着力で歯垢を吸着除去し、同時に歯の凹部に吸着したハイドロキシアパタイト微粒子が唾液による再石灰化で歯と一体化して歯の凹部を埋めることにより初期の虫歯の発生や治療の効果が期待されて開発されました。本高機能複合歯磨剤は、ハイドロキシアパタイトの前駆物質であるリン酸3カルシウム(T C P)が入った歯磨剤チューブと、フッ素イオンが混在された歯磨剤チューブを一体化させたものです。これで歯を磨くことにより、リン酸3カルシウム自身も強力なたんぱく質や糖の吸着力で虫歯の原因となる歯垢(プラーク)を吸着除去することで歯周病予防と同時に、歯の小さな溝に吸着したリン酸3カルシウムはフッ素イオンと唾液により、石灰化促進とフッ素アパタイトへの転化で虫歯予防、初期の虫歯治療さらには歯の退縮も防ぐ画期的な効果を有します。年齢とともに痩せていく歯を太らせることが期待されるわけです。80才で自分の歯を20本残す(8020運動)ためには、適正なブラッシングと高機能複合歯磨剤の補助が必要不可欠です。